

# 資料 3

様式1(第2条関係)

平成24年 9月 8日

長久手市教育委員会 御中

申請者 住 所 日進市蟹甲町中屋敷492-2  
団体名 日進おやの劇場 ホロパイ文庫  
代表者氏名 須崎 徳子  
連絡先電話番号



## 後援・推薦名義の使用について(依頼)

下記のとおり行事を開催しますので、後援・推薦名義使用を承認してください。

記

行 事 名	小池肇子展 フォトワーク
行 事 の 目 的	絵本の楽しさを広く知らせ、子育てに活かしてもらう
主 催	日進おやの劇場 ホロパイ文庫
その他の後援・推薦依頼先	日進市教育委員会
開 催 の 期 日	平成24年11月29日
開 催 の 場 所	日進市中央福祉センター 多機能室
入 場 料	200円
対 象 者	一般
前 回 の 開 催 日	平成23年11月18日 申請なし
内 容	「絵本をどう読む」I、IIの著作があり、NPOの理事であり、小池先生を講師に招き、「なぜ子どもに本が大切なのか」を語りましょう。

※ 新規申請の場合は、会則・会員名簿・予算書・沿革等を添付すること。

※ 学生の発表会は、学校の発行するクラブ証明書を添付すること。



# 収支計画書

## 収 入

項目	金額	算出内訳
参加費	10000円	200円×50人
託児料	6000円	500円×12人
合計	16000円	16000円

## 支 出

項目	金額	算出内訳
講師料	7000円	7000円
交通費	1700円	1700円
託児者謝礼	6300円	2100円×3人
雑費	1000円	1000円
合計	16000円	16000円

(案)

主催：日進おやこ劇場ポパイ文庫



# 小池肇子先生のブックトーク ～本が子どもの成長に必要なわけ～

テレビやパソコンのインターネットなど、メディアによる情報が今は溢れています。そんな現代において、本や絵本がなぜ子どもの成長に必要なのかを、長く教育現場にいらした小池先生に、具体的にお話していただきます。

## 小池肇子先生のプロフィール

奈良女子大学卒業、同大学院文学研究科終了。NPO すくすく理事。子どもの言語能力や読み聞かせ、子育てに関する講演会を行なっている。「絵本をどうぞ」I、IIの著作者。

- ◆ 日時 2012年11月29日(金)  
10時～11時40分(受付9時45分～)
- ◆ 場所 日進市中央福祉センター 2階多機能室
- ◆ 対象 一般
- ◆ 参加費 200円
- ◆ 託児 対象0～3歳・当日500円・先着15名



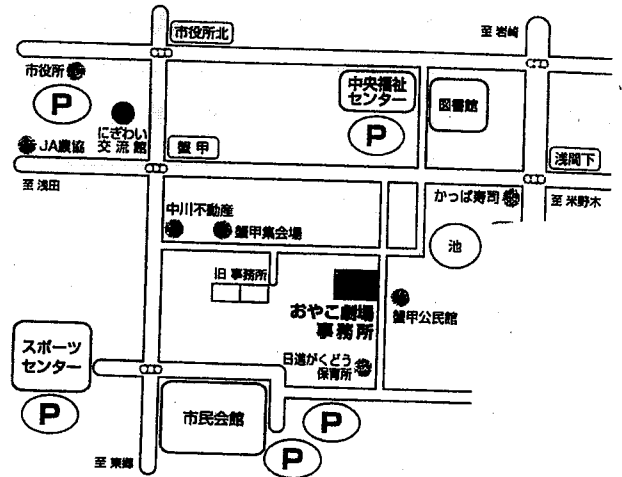
(ブックトーク後、日進おやこ劇場事務所内で、講演会の中で紹介された絵本や、小池先生の著作の中で紹介されている本を販売します。)

### ◆申し込み方法

右記事務所にて参加券を販売します

### ◆申し込み・問い合わせ先(地図右記)

日進おやこ劇場ポパイ文庫  
TEL&FAX 0561-72-0203  
(開所：月～金・10時～4時)



## 小池肇子先生のブックトーク ～本が子どもの成長に必要なわけ～ 託児申込書

保護者の名前	電話番号	子の名前(ひらがなで)	子の年齢	アレルギー
				有・無
				有・無
				有・無

\* 託児は、参加券ご購入の際にこの申込書へご記入の上、事務所へお申し込みください。

日進おやこ劇場パイ文庫 役員・会員名簿(平成24年度)

役職	名前	住所	電話番号
代表	須崎徳子		
会計	依田智子		
	榎本緑		
	水野晶子		
	粥川ひろみ		
	鈴木厚子		
	杉谷純子		
	木本直子		
	川島恵子		
	相木 嘉代		

# 日進おやこ劇場ポパイ文庫会則

## (名称)

第1条 本会は日進おやこ劇場ポパイ文庫(以下「本会」という)と称する。

## (事務所)

第2条 本会の事務所は、日進おやこ劇場事務所内におく。

## (目的)

第3条 本会は、日進おやこ劇場の目的に則して、文化を通して子どもたちの健全な育成を図ることを目的とする。

## (事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 事務所において、絵本・児童書の貸し出しを行う。
- (2) 図書館・集会所などで絵本の読み聞かせなどを行う。
- (3) 講演会・ブックトークなどのワークショップを行う。
- (4) その他、本会の目的達成のために必要な事業。

## (会員)

第5条 本会の目的を理解し、その達成のために熱意のある者を会員とする。

## (役員)

第6条 本会に次の役員をおく。

- (1) 代表 1名
- (2) 会計 1名

## (事業の経費)

第7条 事業の開催に要する経費は、各事業の参加費・補助金などをあてる。

## (付則)

第8条 この会則は、1995年4月1日から施行する。

# 日進おやこ劇場 ポパイ文庫 沿革

2012年9月7日

- ◇1995年4月 ポパイ文庫の前身である、図書文化部が発足。  
日進おやこ劇場の会員の寄付によって集まった本を、会員に貸出、及び蔵書の管理を始める。
- ◇1996年4月 日進市子ども文庫連絡協議会（文庫連）に加盟。通称をポパイ文庫とする。  
これを機に日進市の図書館まつりで文庫連が運営する「お楽しみ劇場」に毎年、参加・協力するようになる。また、本の貸出を会員だけでなく、地域の方たちにも行うようになる。
- ◇1997年 文庫連の活動の一つである、日進市の図書館での読み聞かせにも協力するようになる。（年3回）
- ◇2000年10月 それまでの活動に加えて、子育て講演会又はブックトークを行う。以後、概ね年1～2回のペースで子育て講演会又はブックトークを行う。
- ◇2006年4月 これまで、会員向けには名称を日進おやこ劇場・図書文化部（ポパイ文庫）、対外的にはポパイ文庫としていたが、日進おやこ劇場ポパイ文庫に統一す

## これまでに行なったブックトーク・子育て講演会

実施日	講師	内容
2000年10月17日	永野むつみ氏（人形劇団ひぼぼたあむ代表）	子育て講演会「子どもにとって大切なものは？」
2001年7月2日	月岡弘美氏（書店トムの庭店主）	ブックトーク「絵本の楽しさ」
2002年9月20日	永野むつみ氏（人形劇団ひぼぼたあむ代表）	子育て講演会「子どもを見るって？」
2003年1月24日	月岡弘美氏（書店トムの庭店主）	ブックトーク「絵本との出会い、楽しさ」
2003年9月22日	細沼淑子氏（劇団風の子）	子育て講演会「子どもに伝えたいこと」
2003年12月8日	中澤由美子氏（飛騨絵本美術館館長）	ブックトーク「絵本の楽しさ」
2004年12月7日	熊崎かつ子氏（夢文庫ピコット店主）	ブックトーク「絵本の紹介」
2005年10月27日	平野昭子氏（スクールカウンセラー）	子育て講演会「今、子どもが求めているもの」
2005年11月29日	北川敏明氏（書店メルヘンハウス）	ブックトーク「新刊おすすめ本」
2006年10月23日 12月6日 2007年1月27日	平野昭子氏（スクールカウンセラー）	子育て講演会「今、子どもが求めているもの」
2007年2月6日	月岡弘美氏（書店トムの庭店主）	ブックトーク「絵本や物語を通して自分が自分らしくあること」

2008年2月25日	霜田美津子氏(桜花学園大学非常勤講師)	ブックトーク「親と子の心を繋ぐ時間」
2009年1月23日	永野むつみ氏(人形劇団ひぽぽたあむ代表)	ブックトーク「ゆっくりした子育てのために、絵本にできること」
2010年3月4日	霜田美津子氏(桜花学園大学非常勤講師)	ブックトーク「子どもにとってよい絵本とは」
2011年1月28日	小池肇子氏(NPOすくすく理事)	ブックトーク「子どもに本を読むこと」
2011年11月18日	霜田美津子氏(桜花学園大学非常勤講師)	ブックトーク「親子で絵本を楽しもう」

長久手市教育委員会の後援、推薦審査基準

(行事名 小池肇子さんブックトーク)

審査項目		判断(事務局。該当に○印)	
		適	否
催し物の内容	目的が明確なものか	○	✓
	時代の進歩に応じているものか	○	✓
	生活、経験、興味に即しているものか	○	✓
	教養を高め、文化の向上に資するものか	○	✓
	豊かな情操を養うものであるか	○	✓
催し物の目的その他	営利を目的としていないか	○	✓
	有料である場合、料金が情勢に即しているか	○	✓
	公序良俗に反するおそれがないか	○	✓
	商業的又は政治的な宣伝を意図するものでないか	○	✓
	社会的悪影響を及ぼすおそれのないものであるか	○	✓
	映画等は、国・地方公共団体又は教育委員会の後援又推薦があるか(他で開催された実績があるか)	/	
	市民を対象とするものであり、一地区に限らず、会場が適切であるか	○	✓
	有料で後援申請をする場合、国又は地方公共団体の主催又は後援のものであること及び公共的団体が主催するものであること	/	
申請時において、料金や催し物の内容が明確になっているか(予定、未定となっていないか)	○	✓	
主催者について	特定の政治団体に関するものでないか	○	✓
	特定の宗教団体に関するものでないか	○	✓
	存在及び組織が明確で、事務遂行能力が十分であると判断できるか	○	✓

H24.9.9

確認済  
戸谷純

